

saveMLAK ニュースレター

第 11 号

図書館総合展に参加しました！

11月20～22日にパシフィコ横浜で開催された「第14回図書館総合展」にsaveMLAKも参加しました。

活動紹介とグッズ販売を行ったsaveMLAKブースでは、多くの方にグッズをお買い上げいただき、また募金箱への寄付、応援の声かけもたくさんいただきました。みなさまありがとうございました。



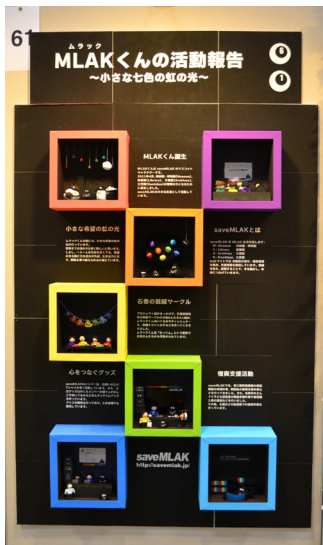
「Library of the Year 2012」では、saveMLAKが災害支援の在り方のモデルになるとして評価され、優秀賞を受賞！



写真左 宮城県図書館熊谷さんによるプレゼンの様子 / 右 MLAKくんと優秀賞記念品の盾

ポスターセッションでは、kumori（渡辺ゆきの）さんの『MLAKくんの活動報告～小さな七色の虹の光～』が優秀賞を受賞しました。

写真右（全体）わかりやすくsaveMLAKを紹介
下（拡大）ミニチュアで立体的に表現



また、21日の夜には、各団体との合同による『社会・文化をささえる活動をする人々をつなげる大交流会』を主催し、113人の方々にご参加いただくことができました。これらの活動成果をまた今後につなげていければと思います。

【写真 神代浩 渡辺ゆきの / 文 久戸瀬 瑞季】

第14回図書館総合展における震災復興を テーマとしたフォーラム開催について

11月20～22日にかけてパシフィコ横浜において第14回図書館総合展が開催されました。ここでは毎回図書館にちなんだ様々なイベントが開かれますが、20日総合展運営委員会主催フォーラムの一環で、東日本大震災をテーマにしたフォーラムをsaveMLAKが企画・運営する形で実施しました。

このフォーラムは「東日本大震災から1年半を経て一復興に向けた政策課題」と題し、前半は元文部科学副大臣の鈴木寛氏からの基調講演、後半は岩手・宮城・福島3県の社会教育関係者を招き、saveMLAKメンバーの神代浩がコーディネーターを務めるパネル・ディスカッションという形で行われました。

鈴木氏は、震災からの復興は物の豊かさを追求する社会からの卒業でなくてはならず、そのためには志を持った者たちの利他的なつながりや学びのコミュニティの構築などを柱とする「創造的復興教育」という発想が重要であると指摘しました。そして、創造的復興教育の応援団長としての役割が図書館、公民館などの社会教育関係者に期待されているとのエールをいただきました。

続くパネル・ディスカッションでは、岩手県陸前高田市教育委員会教育次長の金賢治さんから、国の制度的制約や支援者側とのコミュニケーションの問題などで復興が遅々として進まない状況が紹介されるとともに、県外の人々との継続的なつながりを求める切実な願いが披露されました。

宮城県立図書館の熊谷慎一郎さんからは、図書館には本を通じて心の癒しを得る「ウエット」な支援だけでなく、法テラスなど様々な主体と連携して住民が課題解決の手段を得られるようにする「ドライ」な支援もできることが指摘されました。

福島県の元社会教育主事で福島大学特認准教授の天野和彦さんからは、原発事故のために復興のスタートラインにも立てない現状の紹介とともに、事例を交えながら「心の復興」を果たす機能を有しているのは社会教育や文化しかないと強調されました。

パネラーの方々の中にはそれぞれ重みがあっただけでなく、語り口も三人三様でした。金さんからは穏やかな中にも芯の強さを、熊谷さんからは理路整然とした説得力を、天野さんからはほとぼり出る情熱を感じました。

パネラーの発言に会場からは時折すすり泣きの声が聞こえてきた一方、終了後わざわざスタッフを呼び止めて「とてもよかった」と感想を伝える参加者の方もおられました。フォーラム開催に関わった全ての関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。

【神代 浩】

図書寄贈プロジェクト 第2弾

saveMLAKプロジェクト（以下、saveMLAK）が実施した、気仙沼市立小・中学校（全34校※）への図書寄贈プロジェクトが大きなトラブルもなく無事に完了いたしました。

当プロジェクトでは、前回の南三陸町立小学校（5校）への図書寄贈プロジェクトにて培った経験とスキームを活用し、約2,500冊の図書を寄贈するという一大プロジェクトでした。

saveMLAKによる寄贈図書の種類数・冊数および寄贈先学校数は以下の通りです。

【次ページへ続く】

■寄贈図書

朝読書用図書：約 22 種 約 1,500 冊

調べ学習用図書：約 42 種 約 1,000 冊

■寄贈先

気仙沼市立小学校：全 21 校※

気仙沼市立中学校：全 13 校

今回の図書寄贈では各校からの希望を考慮した選書を行い、図書装備は学校毎に仕様が異なるため全図書へブックカバーをかけるのみとし、図書送付の際には日販 MARC から抽出した書誌データを同梱しました。

最後に、当図書寄贈プロジェクトでは、公益社団法人日本フィランソロピー協会から配布された寄付金を活用し、図書の調達・装備・発送は株式会社有隣堂にご協力をいただきました。

※寄贈先の内、気仙沼市立南気仙沼小学校は、気仙沼市立気仙沼小学校との統合により閉校しました。



【川上 努】

図書寄贈プロジェクト 第3弾

saveMLAK プロジェクト（以下、saveMLAK）では、以前より南三陸町図書館の開館・運営支援を実施しておりますが、今回、手芸関連の実用書を中心とした約 65 冊の図書を南三陸町図書館へ寄贈いたしました。

今回は、冊数・種類が少なかったこと、要望により装備を行わなかったこと等があり、図書の調達依頼から寄贈完了まで約 3 週間と素早く実施することができました。

最後に、当図書寄贈プロジェクトでは、第 13 回図書館総合展での募金を南三陸町図書館へ図書を寄贈する目的で図書館総合展運営委員会より saveMLAK へ寄付いただきました。また、図書の調達・発送は株式会社有隣堂にご協力をいただきました。

【川上 努】

11月のsaveMLAK ウィキ！

◆11月の編集者の方々

(期間：2012/11/01 (Thu) - 2012/11/30 (Fri))

(順不同、IP アドレス・bot・SPAM による編集除く)

総編集回数：243 回

- | | |
|------|---|
| 1 回 | Kitaokatamako, Kudose, Snagai, Wasami |
| 2 回 | Arg, KOJIN Sawako, SAYUKI-2, Stkyoshima, T MIKAWA, かみよ, 土屋 慶丞 |
| 3 回 | Shibure |
| 4 回 | Itono |
| 6 回 | Llibrary, Soda235, Syoujinkankyo |
| 7 回 | Yegusa |
| 11 回 | Magepa |
| 26 回 | Masao |
| 57 回 | Minoritomizawa |
| 99 回 | T. kawakami |

【川上 努】

統計 11月末現在

saveMLAK ML アカウント数	297 (+0)
総ユニーク Wiki 編集者アカウント数	351 (+6)
Wiki 編集回数の総計	135,163 (+574)
総 Wiki ページ数	28,538 (+57)
総 Wiki 施設ページ数	25,187 (+36)

11月の出来事と今後の予定

2012年11月4日

- 外部イベント：第17回情報知識学フォーラム「震災の記憶・記録とアーカイブズ」講演：岡本が「震災アーカイブズの現状と課題」と題して講演。

2012年11月20日～2012年11月22日

- 主催イベント：第14回図書館総合展 saveMLAK ブース出展（11月20日～22日）saveMLAK の活動を紹介、Tシャツ、クリアファイル等のグッズ販売等。

- 関連イベント：第14回図書館総合展 ポスターセッション 渡辺ゆきの (kumori) が「MLAK くん の活動報告」と題してポスター発表、展示。

2012年11月21日

- 主催イベント：社会・文化をささえる活動をする人々をつなげる大交流会

2012年11月29日～11月30日

- 協力イベント：2012年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会「テーマ：震災に学び、震災に備える」saveMLAK 協力によるワークショップ（震災シミュレーション演習から BCP 作成まで）を実施。

2012年12月4日

- 協力イベント：ヨコハマ・関内から名取市に思いを届けよう！～名取市みんなの図書室、引越応援イベント！江草が saveMLAK 活動紹介と名取市図書館へのプロボノ呼びかけ

2012年12月20日

- 第22回 saveMLAK MeetUp 実施予定。会場、参加者募集中。

転載：<http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:ニュースより>

saveMLAK 会計報告

2012年11月期収支 11月末現在

《収入》

受取寄付金	70,885	団体等 3 件
グッズ売上	23,400	情報知識学フォーラム
計	94,285	

《支出》

広報費	54,285	ステッカー製作費
計	54,285	

《11月末現在 預金残高》

1,505,839 円 (前月比 +40,000 円)

11月は図書館総合展など大きなイベントがあり、皆様にはご寄付、グッズ売上など多大なご協力をいただきありがとうございました。まだ未清算で11月期の報告には反映されておられませんので御了承ください。

【ファンド係：赤塚 昌俊】

編集後記

2012年もありがとうございました。引き続き来年もどうぞよろしく願いたします。【今号編集担当：久戸瀬 瑞季】

編集発行：saveMLAK プロジェクト

発行日：2012年12月10日(第11号)

発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル2F

さくら Works <関内>

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>

